

今月の御教え

人間を軽く見るな。軽く見たらおかげはない。

……「天地は語る」第五十二条……

解説

この御理解は二代金光四神様のお言葉であります。教祖様が、神様の願いにより御用に立たれると、生神様とのうわさが広がり、それを聞いて参ってきた人々が次々と御蔭を頂き助けられていったのですが、近隣の人々は御蔭を受け取る人が少なかったのです。それは「近隣の人は教祖様と共に農業に精を出してきた仲間なので『文治さん（教祖様の故の名）は偉いと言っても、元は俺たちと同じ百姓じゃないか』と軽く見るので、御蔭を受け取ることが出来ない」とのお言葉でありました。神様は「人は皆、神の氏子」と申されています。お互い同士が、神の氏子として尊重し合えることこそ、神様の願いであり、それこそ大きな御蔭を頂けるのであります。